

年間指導計画の作成と評価規準の案

指導計画の作成について学習指導要領には「題材など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図る」と示されている。単に題材を羅列するのではなく、育成を目指す資質・能力を念頭に置き、年間を通して生徒の興味関心が高まるような、充実した学びが行われるように計画することが大切である。

第2学年及び第3学年では、第1学年で身につけた資質・能力を柔軟に活用して、表現及び鑑賞に関する資質・能力をより豊かに高めることができるように配置した。第2学年と第3学年の発達の特性を考慮して内容の選択や一題材に充てる時間数等を検討し、より一層深い学習ができるような計画案とした。

■ A案 3学期制による年間指導計画

上記の計画案を無理なく3つの学期で行えるように設定した案である。

■ B案 2学期制による年間指導計画

上記の計画案を無理なく2つの学期で行えるように設定した案である。

A案、B案については、教育的効果は同じになるように設定している。本案を基本として各学校の行事や長期の休み等の事情を勘案しながら無理なく資質・能力を身につけられるよう工夫してほしい。

第2学年 [3学期制] 35時間

3学期制	時間	領域・分野	題材名	教科書ページ	当該題材と関連して扱う参考ページ	教科書ページ	当該題材と関連して扱う参考ページ	教科書ページ							
1 学期・1 2週 (1 2時間 扱い)	1	鑑賞	私たちに身近な美術	2-5	この教科書で美術を学習するみなさんへ	6-7	物語だから動かしたい	38-41							
	2	絵や彫刻など	私が見つめた風景	10-13	奥行き表現	96-97	美術史の扉	98-103							
	3														
	4														
	5														
	6														
	7	デザインや工芸など	世界観や魅力を伝える	60-63	目にとまる 心にとまる	68-71	紙の表現	106・107							
	8														
	9														
	10														
	11														
	12	1	鑑賞	印象派の表現の広がり	26-31	私が見つめた風景	10-13	美術史の扉	98-103						
2 学期・1 4週 (1 4時間 扱い)	13	絵や彫刻など	語る彫刻	48-51	美術史の扉	98-103	量感の表現	104							
	14														
	15	8	イメージを形にして	52-55	量感の表現	104									
	16														
	17														
	18														
	19														
	20														
	21							1	鑑賞	人間らしさを求めて	42-45	奥行き表現	96-97	美術史の扉	98-103
	22							デザインや工芸など	目にとまる 心にとまる	68-71	展覧会をつくる	94-95	共に学ぶ美術	110・111	
23															
24															
25															
26															
3 学期・9 週 (9 時間 扱い)	27	絵や彫刻など	物語だから動かしたい	38-41	これってどう撮るの	108・109									
	28														
	29	5	写して見つけて	34-37	美術史の扉	98-103	日本の伝統色	118・119							
	30														
	31														
	32	3	ひと目で伝える表示	64-67	世界観や魅力を伝える	60-63	つながるデザイン	80・81							
	33														
	34														
	35	1	鑑賞	時代と文化を越えて	32-33	美術史の扉	98-103								

どちらかの題材を選択する扱い

絵や彫刻などに表す題材

デザインや工芸などに表す題材

学びの資料

オリエンテーションなど

第2学年 [2学期制] 35時間

2学期制	時間	領域・分野	題材名	教科書ページ	当該題材と関連して扱う参考ページ	教科書ページ	当該題材と関連して扱う参考ページ	教科書ページ		
前期・16週 (16時間扱い)	1	鑑賞	私たちに身近な美術	2-5	この教科書で美術を学習するみなさんへ	6-7	物語だから動かしたい	38-41		
	2	絵や彫刻など	私が見つめた風景	10-13	奥行き表現	96-97	美術史の扉	98-103		
	3									
	4									
	5									
	6									
	7	デザインや工芸など	世界観や魅力を伝える	60-63	目にとまる 心にとまる	68-71	紙の表現	106・107		
	8									
	9									
	10									
	11									
	12	デザインや工芸など	目にとまる 心にとまる	68-71	展覧会をつくる	94-95	共に学ぶ美術	110・111		
	13									
	14									
	15									
	16									
後期・19週 (19時間扱い)	17	絵や彫刻など	鑑賞	印象派の表現の広がり	26-31	私が見つめた風景	10-13	美術史の扉	98-103	
	18	絵や彫刻など	表現・鑑賞	語る彫刻	48-51	美術史の扉	98-103	量感の表現	104	
	19									
	20									
	21									
	22									
	23									
	24									
	25									
	26	1	絵や彫刻など	鑑賞	人間らしさを求めて	42-45	奥行き表現	96-97	美術史の扉	98-103
	27	5	絵や彫刻など	表現・鑑賞	物語だから動かしたい	38-41	これってどう撮るの	108・109		
	28									
	29									
	30	絵や彫刻など	表現・鑑賞	写して見つけて	34-37	美術史の扉	98-103	日本の伝統色	118・119	
	31									
	32									
	33	3	デザインや工芸など	表現・鑑賞	ひと目で伝える表示	64-67	世界観や魅力を伝える	60-63	つながるデザイン	80・81
	34	1	絵や彫刻など	鑑賞	時代と文化を越えて	32・33	美術史の扉	98-103		
	35									

- どちらかの題材を選択する扱い
- 絵や彫刻などに表す題材
- デザインや工芸などに表す題材
- 学びの資料
- オリエンテーションなど